

2021年6月18日

各 位

株式会社 C A I C A
代表取締役社長 鈴木 伸
(JASDAQ: 2315)
問合せ先:
代表取締役副社長 山口 健治
Tel 03-5657-3000 (代表)

株式交付による株式会社 Zaif Holdings の株式追加取得に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2021年7月30日開催予定の臨時株主総会で「株式交付の件」が承認されることを条件として、下記のとおり、当社を株式交付親会社、実質支配力基準による当社の連結子会社である株式会社Zaif Holdings（以下「Zaif HD」といいます。）を株式交付子会社とする株式交付（以下「本株式交付」といいます。）を行うことを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 本株式交付の目的

当社グループは現在、IT金融企業としての更なる深化に向けて事業を加速させており、金融商品を企画・開発・組成・販売するeワラントグループ、暗号資産交換所Zaif Exchangeを擁するZaifグループ、そして50年以上の実績を誇るシステム開発企業である株式会社C A I C Aテクノロジーズ（東京都港区南青山五丁目11番9号、代表取締役社長 鈴木 伸、以下「C A I C Aテクノロジーズ」といいます。）の3本柱の体制を構築いたしました。新しい金融資産である暗号資産や普及拡大が間近に迫ったブロックチェーン、コロナ禍によりさらに加速するデジタル化に注力し、金融と社会が大きく変貌するパラダイムシフトに合致した企業グループとなることを目指しております。

日本国内の2020年度の暗号資産の取引量は現物が11兆円、デリバティブ取引（証拠金取引）が71.6兆円となり、暗号資産取引量は合計で82.6兆円となっています。（出典：一般社団法人日本暗号資産取引業協会 統計資料より）。各取引所における平均スプレッドを0.04%（Zaif HD調べ）とすると、国内の暗号資産交換所の事業規模（年間収益総額）は330億円となります。また、暗号資産の時価総額は世界で、2021年2月に初めて1兆USドル（約108兆円）を突破し、2021年1月に米デジタル資産金融会社のBakkt Holdings LLC（バクトホールディングス）は、暗号資産の時価総額は、2025年までに3兆USドル規模（約324兆円）になると予測していました（年平均成長率約25%）が、2021年4月時点で2兆USドル（約216兆円）を超え、予想を上回るスピードで成長しています。加えて、2021年4月14日、米暗号資産交換所最大手のCoinbase Global, Inc.（コインベース・グローバル）がナスダックに上場したことで暗号資産業界の更なる盛り上がりが見込まれます。当社グループはこのような事業環境が暗号資産関連ビジネスを拡大する千載一遇の好機であると捉えております。

2021年4月13日付で開示しました「C A I C A中期経営計画（改訂版）」のとおり、2021年10月期は売上高：6,940百万円、営業利益：127百万円、2022年10月期は売上高：10,092百万円、営業利益：1,152百万円、2023年10月期は売上高：11,758百万円、営業利益：1,810百万円を目標としております。ITサービスにおいては、大手SIer^{*1}等の既存顧客からの受注の拡大に加え、自社ブランドである

SI^{※2}事業者向け業務効率化プラットフォームの開発を進めるとともに、暗号資産交換所オールインワンパッケージ「crypto base C (クリプトベース・シー)」、ブロックチェーンコミュニケーションサービス「Gu-Gu (グーグー)」、セキュリティ・コンサルティング・サービスの販売・提供を強化し、自社ブランド商品の比率を高めてまいります。また、CAICAテクノロジーズにおいて、ブロックチェーンを使ったNFTのプラットフォームを開発し、3月末に販売を開始いたしました。CAICAテクノロジーズはますます拡大するNFT市場にいち早く参入し、プラットフォーマーとしてのポジションを確立してまいります。金融サービス事業においては、金融機関としての内部管理態勢の整備強化を最優先課題として進めてまいります。暗号資産に特化した金融商品の企画・開発・組成・販売に加え、今後の暗号資産の活用領域の拡大のためにDeFi^{※3}をはじめとした研究に注力してまいります。株式会社Zaif (大阪府岸和田市荒木町二丁目18番15号、代表取締役社長 八木 隆二、以下「Zaif」といいます。)においては、新たな資金調達手段と期待されるICO^{※4}などによる市場の発展に向けた幅広い分野での暗号資産ビジネスを目指します。収益成長商品として、「簡単売買」を対象としたキャンペーンの継続展開や、「簡単売買グレード」制度の導入・強化を行うとともに、新規暗号資産取扱をスタートさせることで取引の増加を図り業績を拡大いたします。また、新規商品としては、暗号資産CFD等の暗号資産デリバティブの提供を開始する予定であります。

当社は2021年3月15日付「株式の取得(連結子会社化)完了に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、Zaif HDの株式を取得するとともに、当社よりZaif HDに対して代表取締役2名を取締役として派遣したことに伴い実質支配力基準によりZaif HDを当社の連結子会社といたしました。現在の当社によるZaif HDの株式シェアは40.72%となります。前回の株式取得においては子会社化を優先し、実質支配力基準による子会社化に必要な議決権比率として40%超の取得としておりましたが、この度Zaif HD株式の過半数以上の取得を目指します。これは、連結業績への寄与のみならず、一層の意思決定の迅速化を狙うものであります。

また、2021年4月20日付「第三者割当による行使価額修正条項付株式会社CAICA第2回新株予約権(停止要請条項付)の発行に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、約39億円の資金調達を行う予定であります。当該資金調達の用途は、Zaifの次世代システム開発費、Zaifの内部管理態勢強化、当社グループ全体のリブランディング、株式会社Zaif Capital (東京都港区南青山五丁目4番30号、代表取締役 松崎 祐之、以下「Zaif Capital」といいます。)における暗号資産運用資金、及びeワラント証券株式会社(東京都港区南青山五丁目11番9号レキシントン青山3階、代表取締役 瀧木 幹男)の増資引受に充当する予定であります。CAICAグループ全体の総合力を結集させていくことが今後の企業価値を最大化するにあたって最善であり、グループ経営の効率化を更に進めていく必要があるとの結論に至り、株式交付によるZaif HD株式の追加取得の手法を取ることにしました。具体的には、Zaif HDの株主の皆様にご自身の株式を交付することにより、当社の株主として当社グループの企業価値向上の成果を享受いただくことが、Zaif HD及び当社の企業価値向上にとって最適であり、最も株主の利益に資する手法であると判断いたしました。

なお、本件は、2021年3月1日に施行された株式交付制度を活用したものとなります。株式交付制度においては、株式交付親会社が、株式交付子会社をその子会社とするために株式交付子会社の株式を譲り受け、当該株式の譲渡人である株式交付子会社の株主に対して、当該株式の対価として株式交付親会社の株式が交付されることとなります。また、他の会社を完全子会社化することになる株式交換制度とは異なり、株式交付制度を利用した場合には他の会社を完全子会社ではない子会社とすることができません。今回、Zaif HDの既存株主の中には、当社によるZaif HDの完全子会社化に賛同いただけるかご意向が不明の株主も存在し、引き続きZaif HDの株主であることを望まれる株主のご意向を尊重できることから、完全子会社化が前提である株式交換ではなく、株式交付制度を利用することといたしました。

※1 System Integrator の略語です。

※2 System Integrationの略語であり、コンピュータやソフトウェア、ネットワークなどを組み合わせて利便性の高いシステムを作ることです。

※3 Decentralized Financeの略語であり、ブロックチェーン等を活用した中央集権的な管理を要しない金融システムの総称です。

※4 Initial Coin offeringの略語であり、暗号資産の新規発行による資金調達方法の一つです。

2. 本株式交付の要旨

(1) 本株式交付の日程

| | |
|-------------------|----------------|
| 株主総会基準日公告日 | 2021年6月9日 |
| 株主総会付議承認取締役会決議日 | 2021年6月18日 |
| 株式交付計画承認取締役会決議日 | 2021年6月18日 |
| 株主総会基準日 | 2021年6月25日 |
| 株主総会決議日 | 2021年7月30日(予定) |
| 株式交付子会社の株式譲渡の申込期日 | 2021年8月13日(予定) |
| 実施予定日(効力発生日) | 2021年8月31日(予定) |

(注) 1. 本株式交付については、金融商品取引法による有価証券届出書の効力発生を条件としております。

2. 本株式交付の手續進行上の必要性その他の事由により日程を変更する場合があります。

(2) 本株式交付の方式

当社を株式交付親会社、Zaif HDを株式交付子会社とする株式交付です。

(3) 本株式交付に係る割当の内容

| | 当社 (株式交付親会社) | Zaif HD (株式交付子会社) |
|-----------------|------------------------|----------------------|
| 本株式交付に係る株式交付比率 | 1 | 2,558.14 |
| 本株式交付により交付する株式数 | 当社普通株式：41,802,565株(予定) | |

(注) 1. 本株式交付に伴い、Zaif HDの普通株式1株に対して、当社の普通株式2,558.14株を交付いたします。

2. 本株式交付により交付する株式数は、当社が本株式交付の対価として取得するZaif HDの株式数及び株式交付の株式交付比率を勘案して記載しております。なお、Zaif HDの普通株式の保有者から譲渡の申込みがなされる株式数に応じて、実際に当社が交付する株式数が変動することがあります。

3. 当社が本株式交付により発行する新株式数の下限：普通株式10,808,141株

上記新株式数は、当社が本株式交付に際して譲り受けるZaif HDの普通株式の下限の数に対して交付する当社の普通株式の数です。

4. 単元未満株式の取扱い

本株式交付により、1単元(100株)未満の当社の普通株式(以下「単元未満株式」といいます。)の割当てを受ける当社の株主の皆様につきましては、その保有する単元未満株式を東京証券取引所、その他の金融商品取引所において売却することはできません。そのような単元未満株式を保有することとなる株主の皆様は、会社法第192条第1項の規定に基づき、当社に対し、自己の保有する単元未満株式を買い取ることを請求することが可能です。また、会社法第194条第1項及び当社の定款第8条に基づき、当社に対し、自己の有する単元未満株式の数と併せて単元株式数となる数の株式を売り渡すことを請求することも可能です。

5. 1株に満たない端数の処理

本株式交付に伴い、当社株式1株に満たない端数の割当てを受けることになるZaif HDの株主様に対しては、当社は会社法第234条その他関連法令の定めに従い、その端数の合計数に相

当する当社の株式を売却し、係る売却代金をその端数に応じて当該株主の皆様へ交付いたします。

6. 本株式交付により増加する当社の資本金及び資本準備金の額は、会社計算規則第39条の2の定めに従い当社が別途適当に定める金額とする。

(4) 本株式交付に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。なお、Zaif HDは新株予約権を発行しておりますが、当社は当該新株予約権を譲り受けません。

3. 本株式交付に係る割当の内容の根拠等

(1) 割当の内容の根拠及び理由

当社は、株式交付比率の決定にあたり、その公平性・妥当性を確保するため、当社及びZaif HDから独立した第三者算定機関である東京フィナンシャル・アドバイザーズ株式会社（以下「TFA」といいます。）に株式交付の算定を依頼しました。当社は、TFAから提出を受けた株式交付比率の算定結果をふまえ、両社の財政状況・資産状況・将来の見通し等の要因を総合的に勘案した上で、慎重な検討を重ねてまいりました。その結果、当社は、上記2. (3)「本株式交付に係る割当の内容」に記載のとおりとすることが妥当なものであり、それぞれの株主の利益に資するとの判断に至りました。

(2) 算定に関する事項

①算定機関の名称並びに当社及びZaif HDとの関係

TFAは、当社及びZaif HDから独立した第三者算定機関であり、当社及びZaif HDの関連当事者に該当せず、本株式交付に関して重要な利害関係を有しておりません。

②算定の概要

TFAは、当社株式については東京証券取引所JASDAQ市場に上場し市場株価が存在することから市場株価法（算定基準日を2021年6月17日とし、算定基準日の終値及び算定基準日から遡る1か月、3か月、6か月の各期間の株価終値の出来高加重平均）を採用して算定を行いました。

| 採用手法 | 算定結果（円） |
|-------|-----------|
| 市場株価法 | 215 ～ 423 |

また、TFAは、Zaif HDの株式については、非上場会社であるため市場株価が存在せず、将来清算する予定はない継続企業であること、類似上場企業の選定が困難であることから類似企業比較法の採用についても適当ではないと判断したこと等を総合的に勘案し、DCF（ディスカウント・キャッシュ・フロー）法による算定を採用しております。

| 採用手法 | 算定結果（円） |
|------|-------------------|
| DCF法 | 517,881 ～ 632,966 |

DCF法による算定については、Zaif HDが作成した事業計画の予測期間である2021年9月期～2040年9月期までの財務予測を基本として、将来キャッシュ・フローを算定し、一定の割引率で現在価値に割り引くことによって企業価値を評価し算定しております。当該事業計画においては、2022年9月期から2024年9月期においては、Zaif Capitalにおけるトレーディング収益の増加を主な要因とする収益の増加が、2028年9月期から2030年9月期においてはZaifにおける手数料収益の増加を主な要因とする収益の増加が財務予測には含まれております。

大幅な増減益を見込んでいるZaif HDの2022年9月期から2024年9月期及び2028年9月期から2030年9月期の財務予測は以下のとおりです。

(単位：千円)

| | 2021年9月期 | 2022年9月期 | 2023年9月期 | 2024年9月期 |
|------|----------|----------|----------|-----------|
| 営業利益 | 276,709 | 636,384 | 941,406 | 1,611,361 |
| 増減率 | — | 130.0% | 47.9% | 71.2% |

(単位：千円)

| | 2027年9月期 | 2028年9月期 | 2029年9月期 | 2030年9月期 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 営業利益 | 3,262,967 | 4,293,606 | 5,666,965 | 7,483,308 |
| 増減率 | — | 31.6% | 32.0% | 32.1% |

当社はTFAによるZaif HDの株式価値の算定結果を参考に、Zaif HDの財務状況、資産の状況、財務予測等の将来見通しを踏まえて、慎重に検討を重ねた結果、最終的に本株式交付における株式交付比率の算式を下記のとおりとすることが妥当であり、それぞれの株主の利益に資するものであるとの判断に至り決定いたしました。なお、この株式交付比率は、算定の基礎となる諸条件について重大な変更が生じた場合、変更されることがあります。

上記より当社の普通株式1株あたりの株式価値を1とした場合の算定結果は以下のとおりとなります。

| 株式交付比率の算定結果 |
|---------------------|
| 1,224.31 ～ 2,944.03 |

TFAは、本株式交付比率の分析に際して、両社から提供を受けた情報及び一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、採用したそれらの情報等が、全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っておりません。また、両社とその関係会社の資産または負債（偶発債務を含みます。）について、個別の各資産、各負債の分析及び評価を含め、独自に評価、鑑定または査定を行っておりません。加えて、両社の財務予測については両社の経営陣による現時点で可能な最善の予測と判断に基づき合理的に作成されたことを前提としております。TFAの本株式交付比率の分析は、2021年6月17日現在までの上記情報等と経済条件を前提としたものであります。

(3) 上場廃止となる見込み及びその事由

当社は本株式交付において株式交付親会社となり、また株式交付子会社であるZaif HDは非上場のため、該当事項はありません。

(4) 公正性を担保するための措置

本株式交付の実施にあたり、交付比率算定の公正性を担保するため、当社及びZaif HDから独立した第三者算定機関であるTFAを選定し、2021年6月17日付で、株式交付比率に関する算定書を取得しました。当該算定書の概要につきましては、上記3.(2)「算定に関する事項」②「算定の概要」をご参照ください。

4. 本株式交付の当事会社の概要

| | 株式交付親会社 | 株式交付子会社 |
|---------------|------------------|--|
| (1) 名称 | 株式会社CAICA | 株式会社Zaif Holdings |
| (2) 所在地 | 東京都港区南青山五丁目11番9号 | 大阪府堺市南区竹城台三丁目21番1号 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 鈴木 伸 | 代表取締役 八木 隆二 |
| (4) 事業内容 | グループ会社の管理運営等 | 暗号資産関連ビジネスを営む会社の株式又は持分を所有することによる当該会社の経営管 |

| | | |
|----------------|--|---|
| | | 理、グループ戦略の立案およびこれに附帯する業務 |
| (5) 資本金 | 50百万円 (2021年3月1日現在) | 975百万円 (2021年3月15日現在) |
| (6) 設立年月日 | 1989年7月14日 | 2017年10月4日 |
| (7) 発行済株式数 | 635,070,646株 (2020年9月16日現在) | 37,386株 (2021年3月31日現在) |
| (8) 決算期 | 10月 | 9月 |
| (9) 従業員数 | 連結 480名 (2021年4月30日現在) | 40名 (Zaif HD、Zaif、Zaif Capitalの3社合算) |
| (10) 主要取引先 | 楽天グループ株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 株式会社日立ソリューションズ | 該当事項はありません。 |
| (11) 主要取引銀行 | 三井住友銀行 千葉銀行 みずほ銀行 りそな銀行 | りそな銀行 |
| (12) 大株主及び持株比率 | 株式会社日本カストディ銀行 (信託口) 9.3% THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT 6.5% (2021年4月30日現在) | 当社 40.7% 株式会社フィスコ 24.1% 株式会社ヴァルカン・クリプト・カレンダー・フィナンシャル・プロダクツ (フィスコ子会社) 5.9% (2021年3月31日現在) |

(13) 当事会社間の関係

| | |
|-------------|--|
| 資本関係 | 当社はZaif HDの株式15,225株 (40.7%) を保有しております。 |
| 人的関係 | 当社の代表取締役2名及び取締役1名がZaif HDの取締役を兼務しております。また、当社の監査役1名がZaif HDの監査役を兼務しております。 |
| 取引関係 | 該当事項はありません。 |
| 関連当事者への該当状況 | Zaif HDは実質支配力基準による当社の連結子会社に該当いたします。 |

(14) 最近3年間の経営成績及び財政状態

(単位：百万円)

| 決算期 | 当社(連結) | | | Zaif HD(個別) | | |
|----------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| | 2018年 10月期 | 2019年 10月期 | 2020年 10月期 | 2018年 12月期 | 2019年 12月期 | 2020年 12月期 |
| 純資産 | 7,266 | 6,044 | 9,239 | 2,773 | 2,828 | 2,827 |
| 総資産 | 11,022 | 10,494 | 11,297 | 2,797 | 3,306 | 4,524 |
| 1株当たり純資産 (円) | 20.15 | 15.06 | 14.55 | 82,326.15 | 83,966.21 | 83,939.03 |
| 売上高 | 7,640 | 7,600 | 6,003 | 12 | 12 | 18 |
| 営業利益 | △395 | △615 | △679 | △19 | △45 | △2 |
| 経常利益 | 612 | △1,111 | △903 | △13 | △30 | △0 |
| 当期純利益 | 550 | △1,753 | △557 | △2,360 | 55 | △0 |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 1.54 | △4.86 | △1.37 | △70,081.10 | 1,640.05 | △27.18 |
| 1株当たり配当金 (円) | — | — | — | — | — | — |

5. 本株式交付後の状況

| | |
|---------|------------------|
| | 株式交付親会社 |
| (1) 名称 | 株式会社CAICA |
| (2) 所在地 | 東京都港区南青山五丁目11番9号 |

| | |
|--------------|---------------------|
| (3)代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 鈴木 伸 |
| (4)事業内容 | グループ会社の管理運営等 |
| (5)資本金 | 50百万円（2021年4月30日現在） |
| (6)決算期 | 10月 |
| (7)純資産 | 現時点では確定しておりません。 |
| (8)総資産 | 現時点では確定しておりません。 |

6. 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

7. 今後の見通し

本株式交付が2021年10月期の業績等に与える影響については現在精査中です。詳細が判明次第、速やかにお知らせいたします。

以 上